



# 番外編 せいか小さな旅

1250年続く

# 祝園神社の いごもり祭

## 大松明巡行 御田の儀

令和2年

# 1月19日(日)



大松明点火、午後7時頃

京都府無形民俗文化財指定

第二日目 (酉の日) の日に「御田の儀」が行われます。

今に伝わるいごもりの始まりは、  
神護景雲4(770)年1月21日、今から1250年前のこと…

暗闇のなか五穀豊穡を祈る「御田の儀」大松明の巡行

暗闇の中、神主の鳴らす鈴の音が、村中に響きわたる厳かな儀式。燃え上がる大松明を担いだ松明奉持者と神主らが、古者の「もうでござい」の発声で祝園神社から「幸の森」の神田に御神幸。

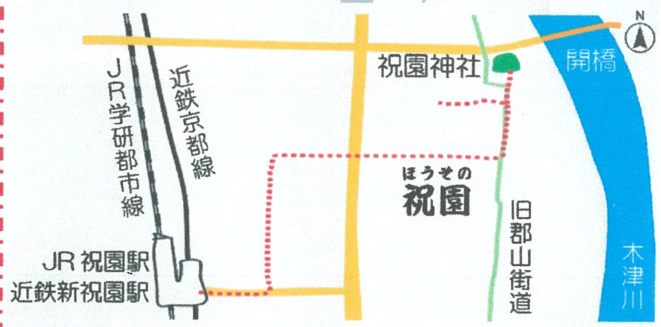
神田では古式にのっとりた農耕神事を行なわれます。

※ご注意：「幸の森」で行われる神事は秘事とされ、そこで行われる神事そのものの見学や撮影は禁じられています。



居籠祭り 西村寿美子

- 開催日：令和2年1月19日(日)
- 集合：17時30分 近鉄新祝園駅改札口前
- 解散：新祝園駅  
20:00頃(大松明の出発見送り迄の場合)  
21:00頃(大松明のお帰りを待つ場合)
- 距離：約3km
- 参加方法：17時30分「近鉄新祝園駅改札口前」集合
- 参加費：300円  
※小雨決行(事前申込み不要)
- 持ち物：飲み物、雨具など



### 『とうがらし汁』これが、いごもり祭名物…

御田の儀が終われば、社務所では「とうがらし」を入れた豆腐汁を食されます。これを戴くと体が温まり風邪が治り、又、風邪をひかないとの言い伝えがあります。

祝園神社表門前にて、いごもり祭保存会の皆様が、一般の方にも提供されます。

ちょっとむせるほど辛いですが、今年は是非食してください。(有料)



とうがらし汁

### <第三日目(戌の日)> 祝園神社鳥居下にて 綱曳の儀(つなひきのぎ)

1月20日(月) 午後3時～



行司は神主が務めます、三べん勝負で綱曳きを行います。



主催：NPO法人精華町ふるさと案内人の会  
後援：精華町 ・ 精華町教育委員会

お問い合わせ…  
NPO法人精華町ふるさと案内人の会  
電話：090-8877-4991  
Eメール：furusato\_seika@yahoo.co.jp

